

1. はじめに

■計画策定の趣旨

室蘭市では、令和元（2019）年度から「室蘭市地域公共交通網形成計画（以下、網形成計画）」を策定し、まちづくりと一体となった持続可能な公共交通網の構築に取り組んできました。網形成計画の計画期間の中間年にあたることから、計画に基づく取り組みの中間評価を実施し、施策・事業等の見直しを行うほか、令和2（2020）年の法改正に対応した改定を含めて、地域の公共交通政策のマスタープランとなる「室蘭市地域公共交通計画」を策定します。

■計画の位置付け

本計画は、「室蘭市都市計画マスタープラン」や「室蘭市立地適正化計画」をはじめとした、まちづくりに関する計画と連携しながら、鉄道、路線バス、タクシーの機能を維持し、効果的に交通機関相互の連携を図りながら、将来にわたって持続可能な公共交通網の構築を目指します。



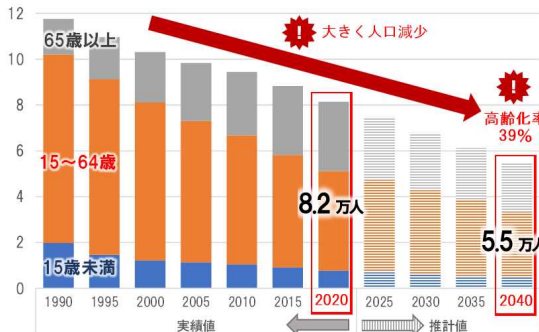
■計画区域・期間

- ・計画区域は、室蘭市全域とします。
- ・計画期間は、令和6（2024）年度～令和10年（2028）年度の5年間とします。

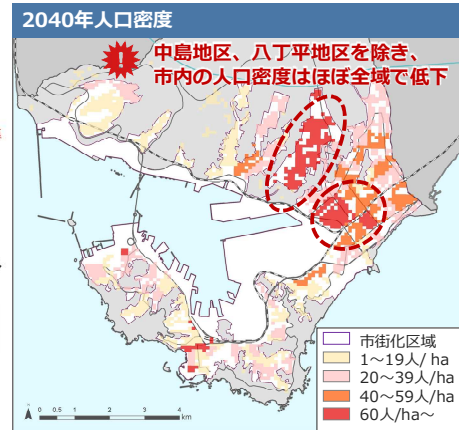
2. 地域の現状

- ・室蘭市の人口は、1990(平成2)年の11万8千人から、2020(令和2)年には約30%の人口が減少し8万2千人となっています。今後も人口減少、高齢化が進むと予測されており、2040(令和22)年には人口が約5万5千人で、高齢化率は約39%と推計されています。（図1）
- ・将来人口密度は、中島地区、八丁平地区を除きほぼ全域で低下が予想されています。（図2）

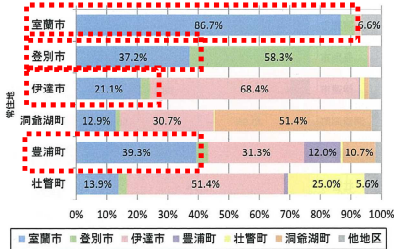
▼図1 室蘭市の人口推移 (万人)



▼図2 室蘭市の2040年の人口密度の推計値



▼図3 室蘭都市圏の通学流動

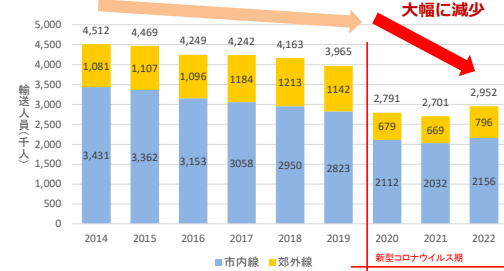


・市民の通勤、通学、通院、買い物を目的とした移動は、主に室蘭市内での移動となっていますが、特に通学を目的とした移動は、近隣市の登別市、伊達市、豊浦町から室蘭市への移動も多くみられます。（図3）

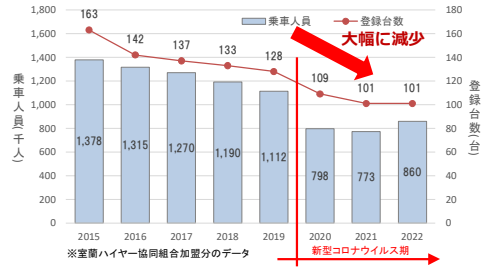
3. 地域公共交通の現状

- ・コロナ禍における大幅な公共交通利用者の減少の後、まだまだ回復の途上にあります。（図4、5）
- ・運転手不足は『顕在化』しており、運転手の高齢化も進んでいることから、人材の確保は今後も厳しい状況が見込まれます。（図6、7）

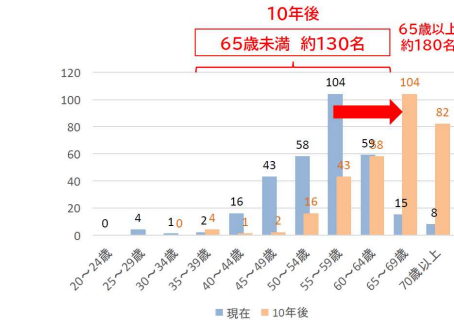
▼図4 路線バスの利用者数推移



▼図5 タクシー利用者数・登録台数推移



▼図6 バス運転手の年齢構成



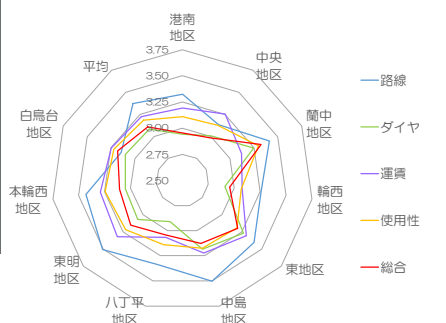
▼図7 タクシー運転手の年齢構成



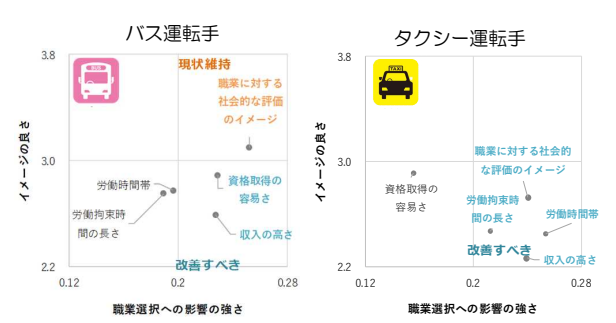
4. 市民アンケート調査

- ・各地区を平均して、バス停までの距離などの路線に対する満足度は高く、運行時刻などのダイヤに対する満足度は低い状況です。（図8）
- ・バス、タクシーの運転手に共通して「収入の高さ」が、タクシー運転手に関しては、「社会的評価」や「労働時間」も職業選択の際の改善すべきイメージとして挙げられています。（図9）

▼図8 路線バスの満足度



▼図9 公共交通運転手への就職に関するイメージ



5. 関連計画等の整理

- ・主に「室蘭市都市計画マスタープラン」や「室蘭市立地適正化計画」などのまちづくりに関する計画のほか、「北海道交通政策総合指針」や「北海道胆振地域公共交通計画」などと整合性を図ります。

6. 地域公共交通の課題

網形成計画策定時の整理をベースとし、最新データの更新や社会情勢の変化、網形成計画の中間評価結果等から、室蘭市が置かれている地域および公共交通の現状、また市民アンケートや関連計画などから、課題を抽出しました。

1. 地域の現状からみた課題

- (1) 少子高齢化、人口減少 ▶ ①公共交通利用の全体数の減少と高齢化への対応が必要
- (2) 地区別の人口密度の変化 ▶ ②人口集積や人口構造の濃淡にあわせた公共交通網の形成が必要
- (3) 各種施設分布の状況 ▶ ③施設立地にあわせ目的地への利用利便性を高める公共交通網の形成が必要
- (4) 市民の移動実態 ▶ ④市内移動及び広域移動を確保する公共交通網の維持・改善が必要
- (5) 地区別の利用特性 ▶ ⑤各地区の利用特性に応じた公共交通サービスの提供が必要
- (6) 観光需要の動向 ▶ ⑥来街者もわかりやすい公共交通サービスの提供や、観光拠点へのアクセス確保が必要

2. 公共交通の現状からみた課題

- (1) 公共交通利用者数の状況 ▶ ①コロナ禍で加速した公共交通利用減少に対する利用促進、維持確保策の検討が必要
- (2) 路線バスによる人口のカバー状況 ▶ ②公共交通の不便地域での移動手段の確保が必要
③効率的な公共交通網の構築と利用促進が必要
- (3) 路線バスの運行実態 ▶ ④利用実態を踏まえた効率的な公共交通網の形成、維持が必要
- (4) 交通事業者の環境の変化 ▶ ⑤公共交通の担い手不足の解消に向けた緊急的な対応や、車両の維持・確保が必要

3. 市民アンケート調査からみた課題

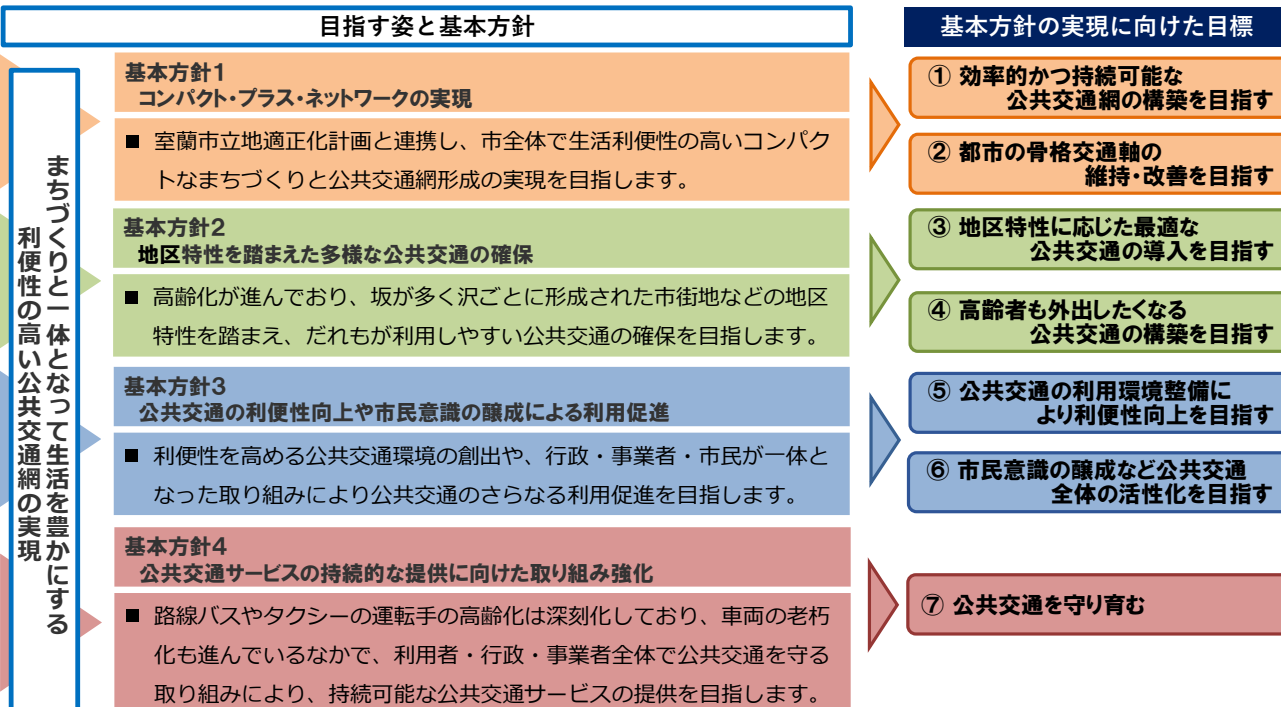
- (1) 路線バスの満足度 ▶ ①公共交通の利便性向上に向けた乗り継ぎの改善や待合環境の整備が必要
- (2) 年齢区分別の満足度 ▶ ②各世代のニーズに対応した公共交通サービスの提供が必要
- (3) 就職に関する改善すべきイメージ ▶ ③人材確保に向けたイメージアップに関する取組みが必要

4. 関連計画等の整理からみた課題

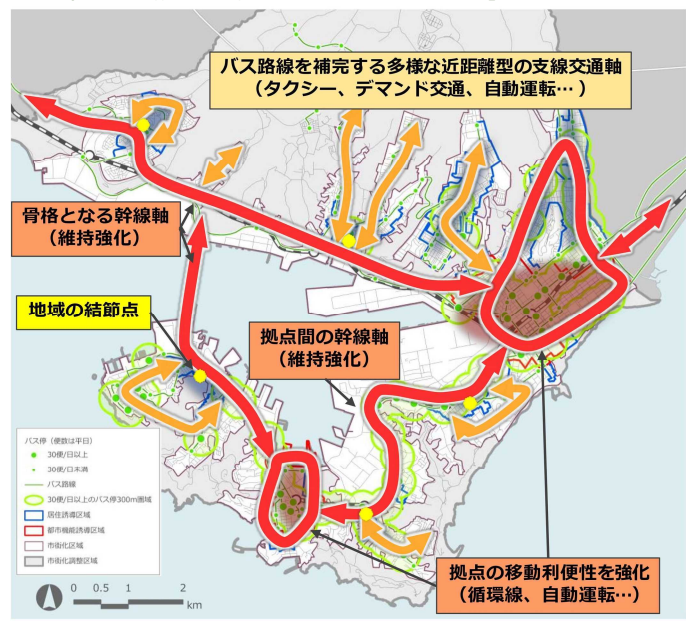
- (1) 関連計画からみた公共交通 ▶ ①室蘭市立地適正化計画で設定されている誘導方針の実現に向けた利便性の高い公共交通網の構築が必要
②白鳥新道を活かしたサークル都市の骨格構造を形成する交通軸の維持・改善が必要

7. 計画の基本的な方針・目標

地域公共交通の課題や上位・関連計画等を踏まえて、目指す姿と基本方針・実現に向けた目標を定めました。



▼室蘭市の「目指すべき将来の公共交通ネットワーク」イメージ



短期

- 現在の公共交通網の維持を基本とし、利用促進を図るほか、特に幹線の利便性向上を重点的に実施
- ▶ 幹線：鉄道、バス
- ▶ 支線：バス、タクシー

長期

- 幹線の強化や交通不便地域等の支線交通を検討する
- ▶ 幹線：鉄道、バス、拠点内循環線等
- ▶ 支線：タクシー、デマンド交通※等

※：デマンド交通とは、電話予約など利用者のニーズに応じて柔軟な運行を行う公共交通の一形態を示し、福祉輸送や特定施設の送迎サービス等は含まない

8. 目標達成のための施策・事業

本計画の基本方針の実現に向けた計画目標を達成するための施策・事業は、以下のとおりです。

基本方針の実現に向けた目標	事業項目	主体	備考
① 効率的かつ持続可能な公共交通網の構築を目指す	1 持続可能なバス路線網の構築	市、交通事業者、国	地域公共交通利便増進事業の対象
	2 生活交通路線の維持確保	市、交通事業者、国	地域公共交通利便増進事業の対象
	3 関係機関による協議の場の設置	協議会	
② 都市の骨格交通軸の維持・改善を目指す	4 地域間幹線系統バス路線の維持・改善	市、近隣市町、北海道、交通事業者、国	地域公共交通利便増進事業の対象
	5 広域的な公共交通の維持・改善	市、近隣市町、北海道、交通事業者、国	
	6 主要アクセス道路の維持・改善	市、近隣市町、北海道、国	
③ 地区特性に応じた最適な公共交通の導入を目指す	7 地域コミュニティ交通事業	市、交通事業者、国	地域公共交通利便増進事業の対象
	8 最先端の交通技術活用に向けた調査研究	市、関連事業者	
④ 高齢者も外出しなくなる公共交通の構築を目指す	9 高齢者の移動手段の確保	市、交通事業者	
	10 ユニバーサルデザイン車両の導入促進	市、交通事業者、国	地域公共交通利便増進事業の対象
⑤ 公共交通の利用環境整備により利便性向上を目指す	11 ICTを活用した公共交通サービスの向上	市、交通事業者	
	12 交通結節点の機能強化	市、北海道、交通事業者、国	地域公共交通利便増進事業の対象
	13 待合環境の改善	市、北海道、交通事業者、国	地域公共交通利便増進事業の対象
⑥ 市民意識の醸成など公共交通全体の活性化を目指す	14 モビリティ・マネジメントの推進	市、北海道、交通事業者、国	地域公共交通利便増進事業の対象
	15 公共交通に関する情報発信強化	市、交通事業者	地域公共交通利便増進事業の対象
⑦ 公共交通を守り育む	16 人材確保のための取り組み強化	市、北海道、交通事業者、国、関連事業者	
	17 公共交通事業者のイメージアップ	市、北海道、交通事業者、国	
	18 スクールバス運行の適正化	市、交通事業者	

▼主な施策・事業の実施概要(抜粋)

事業項目1	持続可能なバス路線網の構築	事業項目4	地域間幹線系統バス路線の維持・改善
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 路線別の利用状況や室蘭市立地適正化計画で設定した誘導区域や施設、幹線・支線の役割などを踏まえ、将来にわたり持続可能なバス路線網の構築に向け検討を進めます。 	実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 室蘭市と近隣市町を結ぶ地域間幹線系統バス路線について、北海道胆振総合振興局や近隣市町等で組織する「胆振地域生活交通確保対策協議会」と連携を図りながら、維持・改善に取り組みます。
主体	市、交通事業者、国	主体	市、近隣市町、北海道、交通事業者、国
事業項目7	地域コミュニティ交通事業	事業項目16	人材確保のための取り組み強化
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の不便な地域において、地域住民・行政・交通事業者の適切な役割分担のもと、これまで実施してきた実証実験等の取り組み結果を踏まえ、今後も地域ニーズを把握しながら、持続可能な地域コミュニティ交通事業を地域ニーズ等に見合った持続可能で多様な交通手段を検討します。 	実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ドライバーの人材確保に向けて、国・北海道・交通事業者などと連携した説明会等の開催検討や、道内外の就職イベントや定住促進イベント等とタイアップして、ドライバー募集に向けたPRを行います。 タクシードライバーになるための一つの障害となっている、室蘭市内で普通第二種免許を取得するための教習が受けられないという課題に対し、市内の自動車教習所と連携し、教習が可能となる『指定』を受ける取り組みを推進します。
主体	市、交通事業者、国	主体	市、北海道、交通事業者、国、関連事業者

9. 計画の達成状況の評価

基本方針・目標について、それらの達成状況を評価するための指標を下記の通り設定し、モニタリングしていくこととします。

評価指標		基準値	目標値	関連する目標
指標①	基幹的バス停の人口カバー率	年少人口：55.3% 生産年齢人口：55.8% 高齢人口：51.0% ※人口は2020年の数値	年少人口： } 基準値 生産年齢人口： } を維持 高齢人口： }	目標①②
指標②	路線バス、鉄道の市民一人当たりの年間利用率	鉄道年間利用率 9.8 ※2018～2022年度実績	鉄道年間利用率 11.2	目標②③④⑤⑥
		路線バス年間利用率 41.1 ※2018～2022年度実績	路線バス年間利用率 46.9	
指標③	路線バスの事業収支率	89% ※2022年度実績	89%以上	目標①③④⑤⑥
指標④	路線バス利用の満足度	満足度 34% ※2023年度調査	満足度 50%以上	目標④⑤
指標⑤	公共交通の利用促進に係る取り組み実施回数	8回/年	12回/年	目標③④⑤⑥
指標⑥	人材確保の取り組み実施回数	2回/年	2回/年	目標⑦